

18歳を迎える君へ

2022年(令和4年)4月某日

契約について
学ぼう



「法教育」とは、法律専門家ではない一般の人々が、法や司法制度、これらの基礎になっている価値を理解し、法的なものの考え方を身に付けるための教育をいいます。



1

18歳と17歳で何が違うの？

法律が改正され、「成年」となる年齢が18歳に変わりました。

成年になると未成年者取消しはできなくなります。



民法の改正

2018年(平成30年)6月に、成年年齢を18歳に引き下げるなどをする法律*が成立しました。

2022年(令和4年)4月1日以降は、18歳で「成年」と扱われます。 ※「民法の一部を改正する法律」

改正前 民法第4条 年齢20歳をもって、成年とする。	 ノリコ 17歳 未成年	改正後 民法第4条 <u>年齢18歳</u> をもって、成年とする。	 ツカサ 18歳 成年	同じ高校生でも 18歳 の僕は「 成年 」で、 17歳 のノリコさんは 「未成年」 なのか！
--	------------------------	--	-----------------------	---

契約における違い

未成年者が契約するときは、親などの法定代理人の同意が必要とされており、その同意がない契約は原則として取り消すことができます(未成年者取消し)。

成年になると、未成年者取消しは適用されず、契約から生じる責任を果たさなくてはなりません。

民法第5条第1項

未成年者が法律行為をするには、その法定代理人の同意を得なければならない。ただし、単に権利を得、又は義務を免れる法律行為については、この限りでない。

民法第5条第2項

前項の規定に反する法律行為は、取り消すことができる。

私は親に相談しなかったから、
英会話教室への入会を親に
取り消されちゃった！！だから、
 入会金が返ってきたの。



※契約を結ぶことなどを
「法律行為」といいます。
 おこづかいや仕送りの範囲
 なら一人でも契約できます。

18歳は「未成年者取消し」の対象にならないのか…。
 消費者トラブルに巻き込まれたりしないかな…。



確かに注意は必要だけど、
 いいこともたくさんあるよ！
 社会には人生を豊かにする契約が
 たくさんあって、成年になれば、
 それを自分の判断で決めるができるんだ！



身近な契約の例



欲しいものを買う
=売買契約



部屋を借りる
=賃貸借契約



就職をする
=雇用契約

成年になると、今までよりももっと自由に、そして主体的に社会に参加できるようになります。その手段のひとつが「契約」です。

自信をもって社会で活躍できるよう「契約」について一緒に勉強していきましょう!!

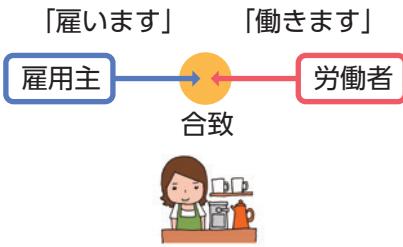
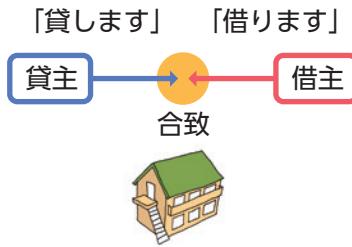
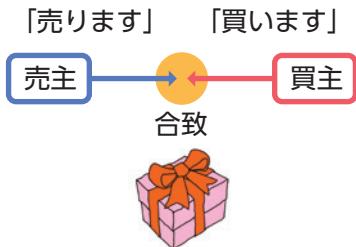
2 契約の基本について学ぼう

私たちは、毎日の生活の中で、色々な契約を結びます。
契約自由の原則についてしっかり頭に入れましょう。



契約とは

契約は、**当事者双方の意思表示**（考え方を表すこと）が**合致すること**によって成立するものです。



契約自由の原則

契約は**当事者の自由な意思に基づいて結ぶ**ことができます。当事者間で結ばれた契約に対しては、国家は干渉せず、その内容を尊重しなければなりません。これを**契約自由の原則**といいます。

「契約を結ぶかどうか」、結ぶとしても「誰と結ぶか」、「どのような契約内容にするか」について、当事者は自由に決めることができます。

サッカー選手の年俸はそれぞれ違うけど、あれは選手ごとにチームとの契約の内容が違うってこと？



そのとおり!! 選手とチームが交渉して、契約を結ぶか、また結ぶとしてどんな内容にするかを決めるんだ。



私も美容室を選ぶときは、料金やサービスを見比べて選ぶけど、それも契約自由の原則と関係あるの？



そうだよ。この原則があるから、いろいろな選択肢の中から、自分の目的や条件に合ったものを選んで契約することができるんだ。

契約自由の原則の例外

契約を結ぶ当事者の中には、「雇用主と労働者」、「事業者と消費者」など、必ずしも対等な関係とはいえないものがあります。このような関係において「契約自由の原則」を貫くと、力のある者に有利な契約ばかりが成立することになります。

そのため、労働者や消費者といった立場の弱い者を保護する観点から、一定の関係においては、法律によって**契約自由の原則の例外**が設けられています。

(例)

雇用主



労働者



法律が定めた労働時間や賃金の最低額に反する契約を結ぶことはできない
(労働基準法、最低賃金法)

事業者



消費者

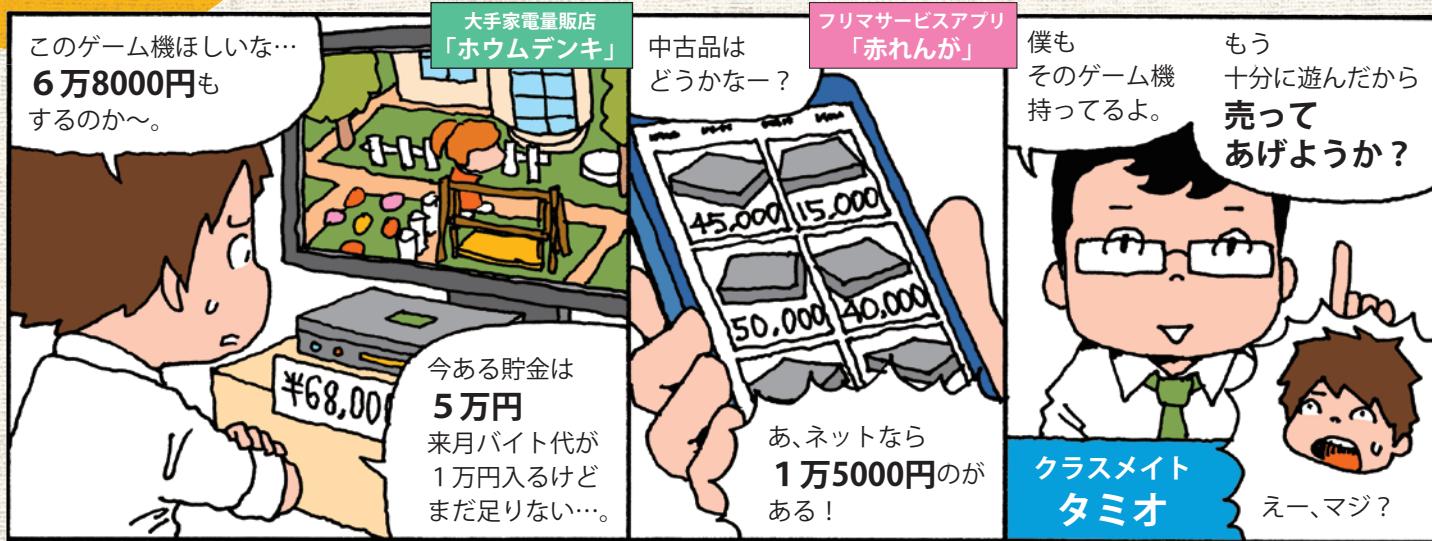
消費者の利益を不当に害するような契約を結ぶことはできない
(消費者契約法)

自分の意思で選べるっていいね！



自分で選んでみよう!

3 自分の目的や条件に合ったものを選ぼう!!



	大手家電量販店 「ホウムデンキ」	フリマサービスアプリ 「赤れんが」	クラスメイト 「タミオ」
商品に関する情報	販売価格 6万8000円(税込) 価格の10%ポイント還元	1万5000円(税込) 送料1500円	3万5000円
新品か 中古品か	新品	中古品 (1年間使用との説明あり)	中古品 (半年間使用との説明あり)
コントローラーの個数	1個	1個	2個
現物を確認できるか	確認可	確認不可 写真あり	確認可
支払方法	現金払い、クレジットカード払い、電子マネー各種対応	クレジットカード払い コンビニ払い	現金払い

選択肢はこの3つあなたならどれを選ぶかな?

あなたの目的や条件を整理しよう!!

1 すぐに必要か?
必要 そうでもない

2 価格はいくらまで?
_____ 円まで

3 新品か、中古品か?
新品 中古品

4 現物を確認したいか?
絶対したい しなくてもよい

5 支払方法は?

6 その他のこだわり

●だから、私は _____ を選ぶ

●決め手は _____



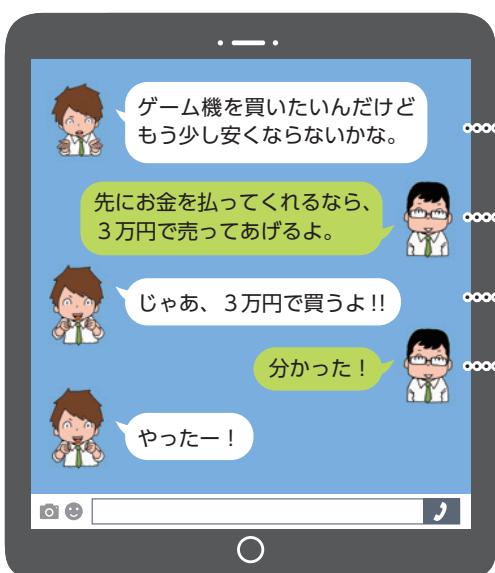
4 契約はいつ成立するんだろう？

お互いの意思表示が合致すると契約は成立します。

原則として、口頭の約束でもよいとされています。



ツカサさんとタミオさんの間では、いつ「意思表示の合致」があったといえるかな？



僕とタミオさんの意思表示が合致したのは値下げについて合意した②の時点じゃないかな。

②の時点では、ツカサさんは「3万円でタミオさんのゲーム機を買う」とは言っていないよ。契約が成立したのは、ツカサさんが3万円でタミオさんのゲーム機を買うと言った③の時点じゃないかしら？



③の時点が、正解！！

①は契約を結ぶ前の交渉だね。
②でタミオさんがツカサさんに契約の申込みをし、
③でツカサさんがこれを承諾したことで、
二人の意思表示が合致したんだね！！



契約が成立したらどうなるの？

契約が成立すると、契約をした当事者には、それぞれ権利と義務が発生します。



- ・代金の支払いを求める権利
 - ・ゲーム機を引き渡す義務
-
-
- 僕はタミオさんに対して、「ゲーム機の引渡しを求める権利」を手に入れるとともに、「代金を支払う義務」を負うのか！！
-
- ## column
- 口頭でも契約が成立するのに、どうして契約書を作るの？？
- 車や不動産の購入や継続的に通う英会話教室等の契約では、多くの場合、契約書を作成します。
- 契約書を作成するのは、契約内容を明確にし、合意した内容を確認できるようにするためです。
- ひとたび契約書を作ると、その契約書は、そこに書いてあるとおりの契約をしたことと示す大きな証拠になります。
- 後で契約をめぐってトラブルになるのを避けるためにも、契約書に書かれている内容を確認し、契約書の記載内容に納得できるかよく考えることが大事です。
- また、契約書は必ず保管しておきましょう。
- 無事契約成立だね!! 楽しみだなー!! GO!
- 5

5 契約の拘束力について学ぼう

契約した当事者は、契約した内容を守らなければなりません。

このように一度、契約が成立すると、拘束力が生じます。



ツカサさんはタミオさんにコントローラーをもう1個持ってくるよう求めることはできるでしょうか？



コントローラーは、2個の約束だよね。

そうだけど、見当たらないんだよ…1個でも遊ぶことはできるから、問題ないでしょ？



タミオさん！
それは
違うよ!!



契約の拘束力

一度契約が成立すると、合意した内容をお互いに守る義務が発生します。契約した内容と違うことをしたり、一方的な都合で契約を解消することはできません。これらを認めてしまうと、皆が安心して契約を結ぶことができなくなるからです。これを「**契約の拘束力**」といいます。

もし相手が契約どおりのことをしない場合、相手に契約した内容を実現するよう求めることができます。

check

クーリング・オフ制度

キャッチセールスや電話での勧誘など、消費者トラブルが発生しやすい取引については、一定の期間内であれば理由を問わず、契約をやめることができます。

詳しくは、『社会への扉』5~6ページ(消費者庁発行)を見てみよう！



やっぱりタミオさんは
コントローラーを
もう1個持つてこない
といけないんだね!!

タミオさんは、契約
の内容を守らないと
いけないんだよ。



column

引き渡された物に問題があったとき、何かできることはある??

[例]

① 売買契約で引き渡された物が契約で決めた内容と違うとき

→ 買主は売主に、**その物の修理や補充、新しい物との交換**を求めることができます。

② 売主が①の修理や補充、交換の請求に応じないとき

→ 買主は売主に、**代金の減額**を求めることができます。

③ 引き渡された物が完全に壊れていて修理ができないときなど

→ 買主は**契約を解除**(かいじょ)して、売主に代金の返金を求めることができます。

その他に、買主に損害が生じていたときは、その損害を金銭で賠償(ばいしょ)してもらえる場合があります。

※ 売主が物を引き渡さないときは、③と同様に買主は契約を解除して売主に代金の返金を求めることができます。



売
主

① ゲーム機を
修理してください
(又は、代わりのゲーム
機をください)



買
主

② 代金を
減額してください

③ 契約を
解除します

6

トラブルが起きたら どうすればよいの？

自分でトラブルを解決できないときは、第三者の助けを借りることができます。

自分の権利を実現する方法を知っておきましょう。



»»» 契約の相方が自ら義務を果たさない場合、
どのような手段で解決すればよいでしょう？



相手が請求に応じないときは、どうしたらしいのかなあ。

トラブル例

- 代金を支払ったのに商品が届かない。
- 見本と違うものが送られてきた。



話し合いで解決できることもありうる。
なんだか契約を結ぶのが不安だな。

裁判による紛争解決 (民事トラブルの場合)



裁判所が、当事者双方の主張を聞き、提出された書類や証人を調べた上で、当事者の権利が認められるかを法に照らして判断し、**判決**によって紛争を解決します。

判決に至る前に、裁判所が間にに入って当事者の話し合いによる解決を促し、当事者が互いに譲り合って解決内容を合意する**和解**もあります。

裁判以外の中立・ 公正な第三者による紛争解決(ADR)

※Alternative Dispute Resolution

当事者と利害関係のない公正中立な第三者が間に入り、当事者同士に話し合いを促し、利害を調整して、トラブルを解決する方法(**調停**)などがあります。

調停には民間事業者が行う調停のほか、裁判所が行う調停もあります。



適正な手続で、正しく法を適用することによって、具体的な紛争を解決することを**司法**というよ！



ひとりで悩まないで！
ここに連絡すれば**専門家**が
相談に乗ってくれるよ！

法的トラブルで悩んだときは



法テラスHP

■法テラス・サポートダイヤル 0570-078374

(IP電話からは：03-6745-5600)



お問い合わせ内容に応じて、解決に役立つ法制度や相談機関・団体に関する情報を、電話やメールにより無料で提供します。

消費者トラブルなど、困ったことが起ったときは

■消費者ホットライン

地方公共団体が設置している最寄りの消費生活センター、消費生活相談窓口を案内します。相談窓口では、消費生活相談員やそれに準じた専門知識・技術を持った人が対応します。



日本弁護士連合会HP



日本司法書士会連合会HP



日本司法書士会連合会HP

法律の専門家に直接アクセスするなら

■全国の弁護士会・弁護士会連合会



日本司法書士会連合会HP

■司法書士総合相談センター



消費者庁 消費者ホットライン188イメージキャラクター イヤヤン

7

18歳からできること・ 20歳まではできないこと

成年年齢が18歳になっても、20歳まではできないことがあります。

18歳からできること、20歳まではできないことを確認しておきましょう！



成年年齢が18歳になつても20歳まではできないことがあるんだよ!!

フムフム
なるほど!!

お酒は
まだ
飲めない
んだね。

[18歳からできること]

- 各種資格（公認会計士や司法書士など）の取得
※取得できない資格もあります。
- 10年用パスポートの取得
- 性別の取扱いの変更の審判しんばんほか
- 普通自動車免許の取得、選挙での投票はこれまでどおり18歳からできます。

[20歳まではできないこと]

- ✗ 喫煙
- ✗ 飲酒
- ✗ 公営ギャンブルほか

ちゃんと
確認してね！



※詳細は法務省民事局HP

さいごに

契約について
理解できたかな?
契約は私たちの身近な
ところにあって、
生活を豊かに
してくれるので。

成年になれば、自分の責任で
契約を結ぶことになるから、
よく考えて契約を
結ぶようにするぞ!!

今までよりもっと
自由にやりたいことを
実現することができるようになるから、
社会の中でいろいろな
ことに参加して
いきたいな。

そうだね！ 契約をするときは、今日勉強したことを思い出してね。
これまで勉強してきた契約も、契約をした当事者同士にとっては、守らなくちゃ
いけないルールの1つだよ。社会にはルールがたくさんあるけど、それは、
いろいろな考え方や価値観を持った人々が一緒に生きていくために必要だから
なんだ。これからも、契約やルールについて勉強して、みんなで一緒に、
誰もが尊重される自由で公正な社会をつくっていこう！



見てね！
ここも！

